

た

だい(題) 三三オ⑥  
だじやうだいじん(太政大臣)

cf ことがの—  
だいなこん(大納言)

cf ことぶだう—

たいふ(大夫) 三ウ①・四ウ③・六オ②  
だいぶ(大夫)

cf くわうたいこうぐうの—  
たうとし(尊) ↓たふとし

たえま(絶間) 二七オ②  
たが(誰)(連語) 一七オ⑨

たかし(高)(形)  
—く圍三〇オ⑤ 雲井にたかくいつ  
かなのらん

—し圍二二ウ⑦ 浪いとたかし  
(二二ウ⑧) 浪もたかしのは  
まならん

—き圍一七ウ③ 雪さへたかき山  
たかしのはま(高師浜) 一二ウ⑧

たかしのやま(高師山) 一二ウ⑤

たがふ(逢)(動四)

—ひ圍一五オ③ きしにはたかひて

たくひ(類) 一ウ⑩

たぐふ(類)(動四)

—ふ圍三三オ④ 恋しのふこゝろや  
たくふ

たけ(竹) 一二ウ⑩・一二オ④

たご(田子) 一八オ④

たごのうら(田子浦) 一八オ②

たしかなり(形動)

—に圍一七オ⑥ たしかにみえし物を  
—なる圍二〇ウ⑧ たしかなるひんき  
二六オ⑤ たしかなる所

—なれ圍一オ⑤ かきをく跡たしかな  
れとも

たすく(助)(動下二)

—け圍二オ⑧ 家をたすけむ  
—けよ圍二オ④ 道をたすけよ  
三六オ① 身をたすけよと

ただ(副) 一ウ②・五オ⑥・五ウ⑦・  
九オ⑤・一二ウ⑩・一五ウ④・一  
六ウ⑩・一八オ⑩・二二オ⑦・二  
七オ⑥・二九ウ②・三六オ④

ただいま(只今) 二四オ⑨

ただす(糺)(動四)

—す(二七オ①) ことはりをたす

の森

ただすのもり(糺森) 三七オ①

たたふ(漶)(動下二)

—へ圍二五オ⑦ 枕のしたにたふへて

ただよふ(漂)(動四)

—ふ圍二七オ① かすみたよふ春

たち(接尾)

cf かみー・ひじりー

たちいる(立入)(動四)

—り圍一六オ⑥ ひるたち入たる所

たちかふ(裁替)(動下二)

—へ圍二九オ⑥ 夏衣はやたちかへ  
て

たちかへり(副) 一三オ③

たちかへる(立返)(動四)

—る圍五オ⑦ こゝろのゆきて立か  
へるほと

二七ウ② 浪のたちかへる世  
を

たちさる(立去)(動四)

—ら圍三ウ⑦ われ立さらは

たちさわぐ(立騒)(動四)

—く圍一六ウ⑩ 浪たぐ枕に立さはく

たちそふ(立添)(動四)

一 囿三二ウ② 草の枕にもたちそひ

て

一 囿五ウ\*⑥ たちそふそうれしか

りける

二 〇オ\*⑧ 浪に立そふうらの

あさ霧

たちつづく(立続)(動四)

一 き囿七ウ⑨ 峯に立つゝきたる松

たちはなる(立離)(動下二)

一 れ囿二〇オ\*⑩ 立はなれよもうき

波はかけもせし

たちまじる(動四)

一 り囿一一ウ② ときは木ともゝたち

ましりて

たちよる(立寄)(動四)

一 り囿八オ③ 猶立よりてくむめり

たちわかる(立別)(動下二)

一 れ囿三四オ\*⑦ 立わかれふしの煙

を見て

三四オ\*⑩ かり初にたち別て

も

たつ(立)(動四)

一 た囿一七オ③ 煙もたゝす

一七ウ\*⑤ けふりもたゝすな

りなは

一 ち囿三オ⑦ いそきたちぬ

二 〇オ⑤ なみのうへに霧たち

て

二 二オ\*③ しぐれにたちした

ひ衣

三 二オ⑧ 志賀の浦浪たち

一 つ囿二七オ\*③ 花のおもかけにた

つ

二 七ウ\*⑥ おもかけにたつ

一 つ囿三オ② 三冬たつはしめの空

二 三ウ\*⑤ たつ日をきかぬ

二 三ウ⑩ たつ日をしらぬ

二 四オ\*③ たつ日をたにも

cf いでー・おもひー・おりー・さき

ー・めにー

たつ(裁)(動四)

一 ち囿二二オ\*③ しぐれにたちし

たひ衣

たづ(田鶴)

cf あしー

たづさはる(携)(動四)

一 り囿二オ① 其跡にしもたづさはり

て

たづね(尋)

御一 二三ウ③・二九オ⑩

たづぬ(尋)(動下二)

一 ね囿一〇オ\*⑦ みるめたつねて

三 一ウ⑩ たよりたつねて

三 二オ\*⑤ 露をたつねて

たづねく(尋米)(動力変)

一 き囿一三ウ\*⑤ かけをたつねきて

一 八ウ\*③ たつねきてわかこ

えかゝる

たてまつる(奉)(動四)

一 り囿三一ウ⑨ かきてたてまつりし

を

一 る囿一八オ⑧ よみてたてまつる

二 四ウ③ 文たてまつるとて

二 六ウ② 歌ともかきあつめて

奉る

三 一ウ④ かきつけ奉る

一 る囿一〇オ① かきつけて奉る歌五

たてまつる(奉)(補助動四)

一 り囿四ウ② 人にきかせ奉りたくて

三 〇ウ⑥ 御子にし奉り給へり

一 る囿二六オ⑦ 程もへすまぢ見奉る

たどたどしさ(名) 二二五ウ⑤

たどりいつ(動下二)

―で 圃八オ① 霧のまよひにたどりい

てつ

たどりわたる(動四)

―る 圃一九ウ⑦ いとくらくてたとり

わたる

たどる(動四)

―る 圃一一オ③ なをすゑたとる野

へのゆふやみ

たにがは(谷川) 三六オ②

たにのと(谷戸) 二五ウ⑤

たね(種) 三五オ⑧・二五ウ⑨

たのみかはす(頼交)(動四)

―し 圃二四オ⑥ たのみかはしたるあ

ね君

たのむ(頼)(動四)

―む 圃五ウ⑥ かたみにたのむおや

のまもりは

二一オ⑨ めくりあふ末をそ

たのむ

二七ウ① たのむそよ

三七オ⑥ たのむそよ

―め 圃六オ⑤ 君をこそあさ日とた

のめ

たのむ(頼)(動下二)

―め 圃六ウ⑨ 又あふさかとのため

てそゆく

たのもし(形)

―し 圃二八ウ⑥ たのもしな

たび(度)

cf このー・ふたー・みー

たび(旅) 六ウ⑧・三三オ⑥・三四オ③

御― 二三オ⑨

たびころも(旅衣) 五オ⑥・五ウ⑤・

二一オ①・二二ウ⑥・二二オ③

\*⑥・二三ウ④・二四オ②・三二

ウ⑧

たびたび(度々) 二二ウ②

たびのそら(旅空) 二八オ⑦・三一オ①

\*⑤・三二ウ⑩

たびね(旅寝) 一四オ⑥・三一ウ⑦・

三二オ④

たびひと(旅人) 七ウ④⑥・八ウ⑥・

一一ウ③

たぶ(給)(補助動四)

―べ 圃三三ウ⑩ こまかにしるしたへ

と

たふとし(尊)(形)

―く 圃二八ウ⑦ しるしいとたうとく

て

たへなり(妙)(形動)

cf たへなるのりのはな

たへなるのりのはな(妙法花)(連語) 二

八ウ⑨

たまくしげ(玉櫛笥) 一八ウ⑦

たまづさ(玉梓) 二四ウ⑩・三六ウ④

たまふ(給)(動四)

―へ 圃二二ウ⑥ をとつれ給へる使に

二五ウ⑩ 音つれ給へりし人

たまふ(給)(補助動四)

―は 圃一オ⑥ 人を捨給はぬ政

二二ウ⑥ みえさせ給はさりし

かは

―ひ 圃五ウ⑨ むまれ給ひしはかりに

て

二二ウ⑧ 心にかゝり給て

三〇ウ⑤ 年経給ひにける

三一オ① つゝみ給しかと

三四ウ③ くだり給ひし後は

―ふ 圃五ウ⑧ 女院にさふらひ給ふ

二二ウ③ 御かたとてさふらひ

給ふ

一 へ困二一ウ② たひく入給へり

二二ウ① 歌あまたいり給へる

二七オ⑧ 返事し給へり

二八ウ④ かへりこととくし給へり

二九ウ⑨ かきてをこそ給へり

三〇ウ⑤ まいらせをき給へる

三〇ウ⑥ 御子にし奉り給へり

三〇ウ⑧ よみ給へりし

三二オ⑦ かきなし給へるも

三二ウ⑩ かへりことし給へり

三二オ① 忍ひ給へりしも

三二オ⑥・二二ウ⑧・三六ウ

ため(為) 八オ⑥・二二ウ⑧・三六ウ

ためかぬのきみ(為兼君) 二二オ①

ためし(例) 一ウ⑧・二九ウ⑦・三五オ

\*⑦・三六ウ\*⑦

ためのり(為教) 二二ウ①

ためもりのきみ(為守君) 三三ウ⑦

たもつ(動四)

一 つ困二八オ⑨ さすかにたもつ御法のしるし

たゆ(絶)(動下二)

一 え困三三オ③ 時雨もたえす

二〇ウ⑤ 松風たえす

一 え困一七オ⑦ いつの年よりか絶し

と

三二オ⑦ 音つれもたえて

三六オ\*⑥ かちを絶たるふね

cf おもひ

たより(便) 二二オ①・二〇ウ⑦・二三

オ④・二四オ④・二五ウ⑧・二八オ

⑤・二八ウ⑩・三一ウ⑩

たれ(誰) 三ウ\*⑦・二二オ\*③・一四オ

\*⑦・二八ウ\*②・三七オ\*④

ち

ちいさし(小) → さびさし

ちかし(近)(形)

一 き困五ウ⑧・一六ウ⑥・二〇ウ③・

二六ウ③・三二オ\*③

ちぎり(契) 二オ⑤・九オ\*⑤・二八ウ

\*⑨

ちぎりおく(契置)(動四)

一 へ困三六オ\*① ちぎりをくすまと

明石の

ちぎりをく → さびりおく

ちしほ(十入) 一一ウ\*⑤

ちち(父) 一七オ③・三〇ウ④・三七ウ

⑧

ちどう(地頭) 三七ウ⑩・三八オ⑨

ちどり(千鳥)

cf はま

ちひさし(形)

一 へ困三三オ② もしちいさくかへり

ことを

ちゆうじやう(中将)

cf さねかたのー・なかのゐんのー

ちゆうしん(忠臣) 一オ⑦

ちゆうなごん(中納言) 三〇ウ④

cf きやうごくのー・ごんー・しんー

ちよく(勅) 一ウ⑨

ちよくせん(勅撰) 二二ウ②

ちり(塵) 三ウ\*⑥・一七ウ\*②  
ちる(散)(動四)

— 一 罨二七ウ\*⑤  
いろもひとつにちる花を

cf みだれ!

つ

ついで(序) 六オ②・二八オ⑦・三一ウ①

つかはす(遣)(動四)

— し 罨三四オ⑤  
人々のもとへつかはしたりし

つかひ(使) 二二ウ⑤・二七オ⑦・三二オ⑩

つかふ(仕)(動下二)

— へ 罨八オ\*⑧  
君につかへんため

— へよ 罨三五ウ\*⑩  
代にもつかへよ  
つき(月) 七ウ②⑨・八ウ\*②・一四ウ⑥

・二〇オ①・二六オ\*②\*⑧・二七オ\*

①・二七ウ\*⑤・三四ウ⑤\*⑩

cf ありあけのー・いきよひのー・い

さよふー

つきかげ(月影) 一六オ⑤・三四ウ\*⑦

つきかげのやつ(月影谷) 二〇ウ②

つぎのみやこ(月都) 一一二オ\*⑨  
つく(着)(動四)

— 一 罨七オ⑤  
かゝみといふ所につくへし

cf ゆきー

つく(附)(動下二)

— 一 罨二〇ウ⑨  
たしかなるひんきにつけて

cf かきー・しるしー

つく(告)(動下二)

— 一 罨二五ウ⑨  
つけたる人あれば  
— 一 罨一四ウ\*⑧  
みやこにつけよ

つくづく(副) 四ウ\*⑩

つくす(尽)(動四)

cf ころー

つくる(造)(動四)

— 一 罨一七ウ\*④  
なからの橋をつくらはや

つけ(黄楊) 一六オ⑥

つけやる(告遣)(動四)

— 一 罨二八オ⑥  
つけやるついでに

つた(薦) 一五ウ\*⑧

つたはる(伝)(動四)

— 一 罨二六オ⑤  
たしかなる所よりつ

たはりて  
三〇ウ⑥  
つたはりてさふらひ

給

つたふ(伝)(動四)

— 一 罨三六オ\*③  
つたひし水のみな  
かみも

つたふ(伝)(動下二)

— 一 罨一八ウ\*①  
つたへし跡も  
つたへしる(伝領)(動四)

— 一 罨三七ウ⑩  
つたへしられけるを

つづき(続) 三六オ\*②

cf みねー

つづく(続)(動四)

— 一 罨三五ウ\*⑥  
三代までつづく人の子に

cf たちー

つづく(続)(動下二)

— 一 罨三二オ⑥  
文の詞につづけて

cf おもひー・かきー

つつまし(形)

— 一 罨二五ウ①  
つつましくする事

つつま(塊) 九オ⑩・(九ウ\*②)

つつまあつむ(包集)(動下二)

— 一 罨二四ウ⑤  
いさゝかつつまあつ

めて

つつむ(包)《動四》

—み囲三二オ① あなちにつゝみ給

しかと

つな(綱)

cf ままぎの—

つひに《副》 四オ\*⑦

つもる(積)《動四》

—り囲三三オ② おほくつもりたり

つゆ(露) 二二ウ⑨\*・三二オ\*⑤

つゆけし《形》

—き囲三三オ\*⑥ 袖を露けき

つら(面)

cf うみ—

つらし《形》

—き囲三六ウ\*⑦ つらきためしとな

りぬ

—けれ口二九ウ\*⑥ 身こそつらけれ

つらぬ(連)《動下二》

cf おもひ—

つりぶね(釣舟) 二二オ⑥

つる(鶴) 三二オ\*④・三六オ\*⑦

つるがをかべ(鶴岡辺) 三七ウ\*②

つれなし《形》

—く囲二オ⑩ つれなくけふまでなか

らふらん

六ウ⑥ つれなくふりすてつ

—き囲一一ウ① 風につれなきところ

つるに —つひに

て

て

て(手)八オ\*④

ていか(定家) 三三ウ②

てこし(手越) 一五ウ⑩

てならひ(手習) 四ウ⑤・五ウ③・二六

ウ①

—ども 五オ④

てら(寺)

cf みる—・やま—

てん(点) 三三ウ⑨

てんあふ(点合)《動四》

—ひ囲三二ウ⑥ 十八首にてんあひぬ

るも

てんりうのわたり(天竜渡) —てんり

ゆうのわたり

てんりゆうのわたり(天竜渡) 一三ウ⑧

と

と(戸)

cf たにの—

とが(答) 三五ウ\*⑩

とき(時) 一ウ④・三五ウ\*③

ときはぎ(常磐木)

—ども 一一ウ②

とく(解)《動下二》

—け囲九オ\*⑥ とげぬうらみ

とこ(床) 三二オ\*④

ところ(所) 六ウ⑥⑩・七オ⑤⑦・七ウ

⑧・八ウ⑤・一一ウ⑩・一二オ⑥・

一三オ⑨⑩・一三ウ①・一四オ⑤・

一四ウ③・一五ウ④⑩・一六オ⑥・

一七ウ⑥・一八オ⑥・一九ウ②⑧・

二〇ウ②・二六オ⑤・二六ウ③・三

〇②・三三オ⑨・三七ウ⑦⑩

cf ひと—

ところどころ(所々) 一一ウ①・二五ウ

⑨

とし(年) 一六ウ\*③・一七オ⑦・二三

ウ⑨・二五ウ③・二八ウ\*⑤・三〇

ウ⑤

とし(疾)(形)

―く 困四オ⑥ かへりこといとくお

り

二八ウ④ かへりことくし給

へり

としなり(俊成) ―しゆんぜい

としつき(年月) 二オ⑨

とどこほりなし(形)

―く 困三七ウ\*① とどこほりなくわ

かかたへ

とどまりがたし(形)

―し 困一九オ③ 人のあしもとどまり

かたし

とどまる(留・止)(動四)

―ら 困一オ④ 八橋にとどまらんと

―り 困七オ⑦ …といふ所にとどまり

ぬ

一二オ⑥ いふ所にとどまりぬ

一六ウ⑥ 海ちかき里にとどま

りぬ

―る 困三オ⑥ とどまるへきにもあら

て

七ウ⑧ といふ所にとどまる

八ウ⑤ といふ所にとどまる

一三オ⑨ といふ所にとどまる

一四オ⑤ いふ所にとどまる

一四ウ③ といふ所にとどまる

一五ウ⑩ といふ所にとどまる

一八オ⑦ といふ所にとどまる

一九ウ⑧ といふ所にとどまる

とどむ(止)(動下二)

―め 困六オ\*⑨ おもひをくくろと

ぬめは

三八オ⑨ みなとどめられて

cf かき―・かけ―・せき―

とどめおく(留置)(動四)

―く 困三ウ\*⑥ とどめをくふるき枕

とどめをく ―とどめおく

となり(隣) 一六ウ⑥・二五ウ⑤

とのまく(地名) 一四オ⑨

とびかふ(飛交)(動四)

―ひ 困一三オ⑤ おほく飛かひて

とびわかる(飛別)(動下二)

―れ 困三二オ\*④ つるのとびわかれ

ならはぬ旅の

三二オ\*⑨ とびわかれても

とぶ(周・訪)(動四)

―は 困二七ウ\*⑧ 花を人やとはまし

―ふ 困二オ⑦ 跡とふ法の灯も

一三ウ\*⑥ むかしをそとふ

―へ 困九オ③ 人にとへは

一四ウ④ 人にとへは

一七オ⑧ とへは

一九オ⑦ いかにとへは

一九ウ③ いつことかいふとと

へは

―へ 困二オ⑤ 後の世をとへとて

三七オ\*② いさゝかかけてと

へ

cf こと―

とほざかりはつ(遠果)(動下二)

―て 困二五オ④ とをさかりはて、

とほし(遠)(形)

―く 困四ウ\*⑥ 行きき遠くしたはれ

て

五オ\*① 道とをく共

一〇ウ⑩ 山も野もいとくをく

て

二〇オ⑨ 都遠くへたゞりはて

ぬる

―し 困一八ウ⑨ みちとをしとて

一九ウ② とまるへき所とをし

三二ウ\*⑤ みやこまでかたる

もとをし

一き困七オ\*④ 行ききとをき野路の

しの原

一一オ⑨ 山もと遠きはら野

一五ウ\*⑦ 夢にもとをき都

一けれ四三二オ\*② 草の枕はとをけ

れと

とほつあふみ(遠江) 一四オ④

とほつあふみのくに(遠江国) 一七オ⑤

とまる(止)(動四)

一る四一九ウ① とまるへき所とをし

とむ(留)(動下二)

一め困三五ウ\*⑥ それか中にも名をとめて

cf あとー・せきー

とも(供) 一二ウ①

とも(友) 二八ウ\*⑧・三四ウ⑨

ども(接尾)

cf あまー・うたー・こー・ことー・

なつしー・てならひー・とぎはぎ

ー・ふみー・ふるほぐー・をのこご

ともしび(灯) 二オ⑦

ともに(連語)

三オ④ 涙とともにみたれちり

とり(鳥) 一〇ウ⑥・一二ウ⑩・一三オ①⑤

①⑤

cf しまつー・はまちー・みやこ

とりあつむ(集)(動下二)

一め困三二ウ② 文ともとりあつめて

とりいづ(取出)(動下二)

一で困一〇オ① 硯とりいて、

とりわき(副) 三五ウ\*⑦

とをかあまり(二)のか ー↓じぶくにち

とをかあまりなぬか ー↓じふしちにち

とをかあまりやうか ー↓じふはちにち

とをざかりはつ(遠果) ー↓とほざかり

はつ

とをし(遠) ー↓とほし

とをつあふみ(遠江) ー↓とほつあふみ

とをつあふみのくに(遠江国) ー↓とほ

つあふみのくに

な

な(名) 一オ②・九ウ\*⑦・一三オ①⑤

御一 二二ウ②

なか(中) 一オ①・三ウ①・二四オ⑤・

二五ウ⑩・三二ウ⑦・三五ウ\*⑥

cf よのー

ながし(長)(形)

一かれ困三七ウ\*⑤ なか、れとあさ

夕いのる

ながす(流)(動四)

一す困一九オ⑧ 浦へいたさんとてな

かす也

なかぞら(中空) 三六ウ\*②

なかだち(媒) 一ウ⑥

なかなか(副) 二五オ\*⑩

なかのいんのちゆうじやう(中院中将)

ー↓なかのいんのちゆうじやう

なかのいんのちゆうじやう(中院中将)

二五オ②

ながむ(動下二)

一め困四ウ\*⑦ そなたの空をなかめ

一め困四ウ\*⑩ 空ななかめそ

二六ウ\*⑩ はれくもりなかめ

てわたる

一むる困二三オ① なかむる空

ながめ(眺) 二三ウ\*⑧・二五ウ④・二



七ウ\*④・三五オ\*①

ながめあかす(眺明)(動四)

―し 困三四ウ⑤ 月をのみなめ明し

て

ながらのはし(長柄橋) 一七ウ\*④

ながらふ(流)(動下二)

―ふ 困二ウ① けふまでなからふらん

ながる(流)(動下二)

―る 困一九オ⑥ 木のおほくなかる

ゝを

一九オ\*⑩ しほ木なかるゝ

はや川

ながれ(流) 二オ⑥・三七オ\*⑨

なぎさ(渚) 一九ウ\*⑥・二〇オ⑤

なく(泣)(動四)

―か 困三三ウ\*⑥ ねこそなかるれ

―く 困三三オ\*⑩ 草の枕にわれそな

く

なく(鳴)(動四)

―か 困三〇オ⑨ なかすはよし

―き 困一〇ウ\*③ はま千鳥なきてそ

さそふ

三〇オ② あまた声なきけるを

―く 困三一オ\*⑤ 旅のそらに鳴らん

なくさのはま(名草浜) 二六ウ④

なくさむ(慰)(動下二)

なくさ(二六ウ④) なくさの浜ならね

は

―む 困五オ② かへりこんとそなく

さむる

なくさめかぬ(慰兼)(動下二)

―ね 困三オ⑩ なくさめかねたる中に

も

なくなく(泣々) 一六オ④・三六オ\*⑦

なげき(歎) 三六ウ\*⑦

なごり(名残) 四ウ④・三二ウ\*⑥

なごりなし(形)

―く 困二八オ④ なごりなくおちたる

なさけ(情) 一オ⑦・三五オ\*⑨・三七

オ\*⑦

なし(形)

な―み 一三ウ\*⑥ みし人なみにむ

かしをそとふ

―く 困九ウ\*⑦ ふたつなくみつなき

法

一〇オ⑩ さはりなくひかたを

行

二六オ⑩ ままゝるゝ事なく歌を

よみ

三四ウ③ 歌よむ友もなくて

三六オ\*⑥ よるかたもなくわ

ひはつる

―し 困五ウ⑦ 女子はあまたもなし

一四オ① さし帰るひまもなし

一五オ④ わつらひなし

一七オ⑧ こたふる人たになし

一九ウ④ しりたる人もなし

三〇オ⑥ 其かひもなし

―き 困九ウ\*⑧ ふたつなくみつなき

法

一六オ② 人のなきやとも有け

り

二六ウ④ 猶なき心ちして

cf あと―うつつとも―おほつか

―かくれ―かひ―さため―

・そこはかと―つれ―とことこ

ほり―なごり―なんと―の

こり―ひま―へだて―ほい

―ほど―ま―やむごと―

やらむかた―やるかた―ゆく

り―ゆくりも―ゆゑ―よう

―をさ―

なしはつ(為果)(動下二)

―て困二ウ⑦ ようなきものになしは

つゝ

なす(為)(動四)

―し困一七ウ\*③ たかき山となしけ

ん

一九オ\*② よそになしぬる

cf かき―

なつ(夏) 八オ②・二九オ①\*④・三二

オ⑥

なつかし(形)

―し困九ウ\*⑦ 一のみや名さへなつ

かし

―き困三四ウ\*⑥ 東路の空なつかし

きかたみに

三五オ\*① そらなつかしきお

なしなかめは

なつころも(夏衣) 二九オ\*⑤

なでしこ(撫子) 六オ\*⑥

cf やまと―

など(副)

↑―や↓ 二三三ウ③

なに(何) 一二オ①・二四オ\*②

なにがし(身果) 一五ウ⑩

なにごと(何事) 二三オ⑥

なにとして(連語) 二オ⑩

なにとなし(形)

―く困三オ⑦ 何となくいそきたちぬ

なる(名色)(動四)

―ら困三〇オ\*⑤ いつかなのらん

なびきはつ(靡果)(動下二)

―て困一七オ\*⑨ たか方になびきは

てゝか

なびく(靡)(動四)

―く困三五オ\*⑩ おに神までもなび

くなり

なほ(猶) 一オ⑩・一ウ⑩・二ウ③④・

七オ⑦\*⑨・八オ③・一一オ\*③・一

二オ⑤・一八ウ\*⑧・一九ウ①・二

〇オ⑨・二六ウ④・三一オ\*⑩・三

四オ\*⑦・三七ウ\*④

なほざりなり(形動)

なほざり(開陰) 一六オ\*⑨ なをさりの

みるめ

―なら困三二オ⑦ なをさりならすお

ほゆ

なほす(直)(動四)

cf ひき―

なまぐさし(形)

―し困一六ウ⑧ よるの宿なまぐさし

と

なみ(浪) 一二ウ⑥\*⑧\*⑨・一三オ\*⑧・

(二)三ウ\*⑥(一)一六ウ①\*④⑩・二〇

オ⑤\*⑧・二〇ウ④・二四ウ\*①・二

五オ\*⑩・二六オ\*③\*⑨・二六ウ\*⑦

・二七オ\*③・二七ウ\*②・三五ウ\*①

cf あらいそーうきーしがのうら

―よこー

なみ(無) ―なし

なみかせ(波風) 二四オ⑧

なみだ(涙) 三オ③・五オ\*⑥⑧・一五

ウ\*⑨・二二オ①・二二ウ\*⑦・二

四オ\*⑩・二四ウ\*⑩・二五オ⑦・三

四ウ\*⑦

なみのうへ(地名) 一七ウ⑥

なみま(浪間) 二〇オ\*③

ならす(鳴)(動四)

―さ困三五ウ\*② 枝もならさすふる

雨も

ならひ(習) 三〇オ⑧

ならふ(習)(動四)

―は困一七オ\*① ならはすよよそに

聞こし清見かた  
ならはぬ旅のそら  
三一オ\*⑤

ならぶ(並)(動下二)

一べ 困九オ\*⑦ 舟をならへて

なりゆく(成行)(動四)

一く 困二三ウ⑥ これより雪に成ゆく

と

一く 困二三オ\*② 雲井そ雪に成ゆく

なる(成)(動四)

一ら 困四オ\*⑦ よもあたにはならし

一り 困一ウ⑥ なかたちと成にける

九オ② 雨はふらすなりぬ

一一オ⑤ みえずなりぬ

一一オ⑩ ひるつかたになりて

一四オ⑨ ひるに成て

一七ウ\*⑤ けふりもたゝすな

りなは

二〇オ⑥ 見えずなりぬ

二五ウ④ 春にも成にけり

二七ウ⑩ 二たひに成ぬ

二八ウ\*⑧ 身にそふ友と成に

けり

二九ウ⑩ 卯月のすゑに成にけ

れと

おかしく成にけり  
秋に成ては  
三二ウ⑤  
三四ウ④

よろつの情になり  
三三オ\*⑨

ければ

春になりけり  
三六ウ\*①

いかさまにかはな  
三六ウ\*④

りぬらん

つらきためしとな  
三六ウ\*⑧

りぬへし

跡なくなりぬとか  
三七オ\*③

見えずなるらん  
一七オ\*⑩

三たひになるへき晝  
二八オ②

おもふことなる  
一〇オ\*②

みかた

いかになるみの浦  
(一七オ④)

おもひー

なる(馴)(動下二)

なれぬ枕の浪のよ  
一れ 困二六オ\*⑨

るく

なれしさとのおま  
一れ 困二四ウ\*⑦

人

cf おもひー・まっしー・みー

なるみがた(鳴海瀉) 一〇オ\*②\*④\*⑥

なるみのうら(鳴海浦) 一七オ④

なれく(馴来)(動力変)  
なれきつるを  
一き 困四ウ③

なを(猶) ーなほ

なをざり ーなほざり

なんとして ーなにとして

なんとなし ーなにとなし

に

にき(日記) ーにつき

にこる(濁)(動四)

一る 困八オ\*④ むすふ手にゝこる心  
をすゝき

にしき(錦) 一一ウ③\*⑥

にじふいちかてう(廿一箇条) 三八オ⑨

にじふいちにち(廿一日) 一一オ⑧

にじふくにち(廿九日) 一九ウ⑩

にじふごにち(廿五日) 一五オ②

にじふさんにち(廿三日) 一三ウ⑧

にじふしちにち(廿七日) 一七ウ⑦

にじふしにち(廿四日) 一四オ⑨

にじふににち(廿二日) 一二オ⑦・二三

オ⑤

にじふはちにち(廿八日) 一八ウ⑤

にじふるくにち(廿六日) 一六オ③

につぎ(日記) 三四オ④

には(陸) 三オ⑧

にふだう(入道)

cf こーだいなごん・さんみのー

にふだうだいなごん(入道大納言)

cf こー

にほひ(匂) 一六ウ⑦

にようゐん(女院) 五ウ⑧・三〇ウ⑤

にる(似)(動上一)

に困一四ウ② こと山に似す

二九オ⑨

ありしにも似ぬこゝち

に困二六ウ\*⑨

三六オ\*⑥

みやこにゝたる ちちを絶たるふねにゝて

ぬ

ぬ(寝)(動下一)

ね困二六オ\*⑧ ねられしな

ぬし(主) 一一オ\*③

ぬらす(濡)(動四)

一せ困七オ\*⑨ 猶袖ぬらせとや

ぬる(濡)(動下一)

一れ困二三ウ\*④ 一かたに袖やぬれ

まし 一れ困七オ\*③ ふるさとおもふ袖ぬ

れて

ぬれぎぬ(濡衣) 一六ウ\*④

ね

ね(寝)

cf おもひー・たびー

ね(嶺)

cf ふじのー

ね(音)

三三ウ\*①\*⑥

cf しのびー

ねざめ(寝覚) 一七オ\*②

ねなく(音泣)(動四)

一か困二三ウ\*⑥

ねこそなかるれ

ねや(園) 三ウ③

の

の(野) 一〇ウ⑩

のまば(軒端) 三六ウ\*③

のこす(残)(動四)

一さ困四オ\*⑧ みよの跡に残さは

cf かきー

のこりなし(形)

一く困六ウ① 歌のこりなくかきつゝ

け

のこる(残)(動四)

一り困七ウ② 光かすかに残りたる

一る困六オ\*⑥ ふる里にのこるなて

しこ

一八オ⑦ いまた夕日残る程

三七オ\*⑦ のこる逢とかこち

ける

三七ウ⑦ 残るよもきとかこち

ける

三八オ\*⑦ のこるよもきかか

す

のたまふ(動四)

一へ困三三オ⑥ たつねてなどのたま

へり

のち(後) 一七ウ⑧・二三ウ②・三四ウ

③・三五オ②・三八オ⑩

のち(野路) 六ウ⑩・七オ\*④

のち(後世) 二オ⑤

のどかなり(形動)

一に困二〇ウ④ のとかにすこくて

のなかのしみづ(野中清水) 三七オ\*⑨

三八オ⑩・三八ウ\*③



はまち(浜路) 一九ウ⑩

はまちどり(浜千鳥) 四オ④\*⑨・一〇ウ①\*③

はまなのはし(浜名橋) 一三オ④

はままつ(浜松) 一三オ⑩・一三ウ\*⑤

はや(副) 五オ\*①・二九オ\*⑤

はやかは(早川) 一九オ⑤\*⑩

はやし(早)《形》

—し④一九オ⑥ まことにはやし

はやせ(早瀬) 一四オ\*③

はら(腹) 《三五ウ\*⑨》

はらふ(掃)《動四》

—は困三ウ\*⑦ たれかはらはむ

cf ううち—

はらの(原野) 一一オ⑨

はりま(播磨) 二七オ\*⑥

はりまのくに(播磨国) 三二ウ⑨

はる(春) 二五ウ④⑦・二六ウ\*⑨・二七オ\*①・二七ウ\*③・二九オ④\*④・二六ウ\*①

はる(晴)《動下二》

—れ困二七ウ\*④ はれぬころは

—れ園一一オ⑧ いとよくはれたり

二六ウ\*⑩ はれくもりなかめ

て

二七オ⑨ 霞晴ぬる心ちして

はるかなり《形動》

—なり④一五オ⑤ いとはるか也

—なる困三二オ① はるかなる旅のそ

ら

はるばると《副》 四ウ\*⑥・一一オ\*②・一九ウ⑩・二二ウ\*⑥

ひ

ひ

ひ(火) 《三四ウ\*①》

cf もしほ—

ひ(日) 七オ①・一一オ①・一二オ⑤・一八オ②・一九ウ①・二三オ⑩・二

三ウ\*⑥⑩・二四オ\*③

cf あさ—・ゆふ—

ひかげ(日影)

cf あさ—

ひかた(干潟) 一〇オ⑩

ひがめ(餅目) 三二ウ⑦

ひかり(光) 七ウ②・二八ウ\*⑥・三七ウ\*③

ひきなほす(引直)《動四》

—す④三七オ\*⑤ たれか引なをすへ

き

ひきなをす— ひきなほす

ひきのやつ(比企谷) 三〇オ②\*④

ひきまのしゆく(引馬宿) 一三オ⑨

ひく(引)《動四》

—く困一〇オ\*⑤ かたひくしほも

ひごる(日頃) 二七オ⑧・三二ウ①

ひさし(庇)

cf いた—

ひじり(聖) 三五オ\*⑦

—たち 一ウ⑦

ひと(人) 一オ②⑥・一ウ③⑧・四ウ②

・六ウ⑩・八ウ⑩・九オ③・一一ウ③・一二ウ①・一三ウ②\*⑦⑧・一

四オ①・一五オ⑩・一六オ②\*⑩・一六ウ⑧・一七オ⑧・一八オ⑤・一

九オ③・一九ウ④・二〇ウ\*①・二〇ウ⑧・二二ウ②③・二二ウ①・二

五オ③④⑥・二五ウ①⑨・二六オ①・二六ウ①・二七ウ\*⑧・二九オ①・

二九ウ\*①・三〇オ③⑨・三〇ウ⑩

三一オ⑦・三一ウ③\*⑧・三三ウ\*⑥

・三五オ⑧・三五ウ\*⑥・三六ウ\*⑩

三七オ\*⑦

cf あまー・うらー・かちー・さとー

・たびー・みやこー

ひとかたならず(連語)

―ず 四三二オ⑦ おほつかなさも一か

たならず

―ぬ 四オ\*⑤ ひとかたならぬ跡

四オ\*⑩ ひとかたならぬあと

ひとかたなり(形動)

―に 四三二ウ\*④ 一かたに袖やぬれ

まし

ひとしげし(形)

―し 四一六オ① いと人しげし

ひとすぢなり(形動)

―に 四三〇オ⑧ 一すぢに又なかすは

ひとつ(一)・一オ⑧・二ウ②・一一ウ⑩

・一三ウ⑩・一五ウ④・二二ウ\*⑨・

二七ウ\*⑤・二八オ③・三七オ\*⑨

ひとつて(人伝) 三〇オ①

ひとつとこる(一所) 五ウ⑨

ひとつと(人々) 三オ⑩・五ウ①・一三

ウ①・二三ウ①・二四オ⑦・三二ウ

①・三三ウ④・三四オ⑤

ひとむら(一叢) 一二オ\*④

ひとめづつみ(人目包) 九ウ\*②

ひとやりならず(連語)

―ぬ 四三オ⑤ 人やりならぬみち

ひとり(一人) 五ウ⑦・二四ウ\*①・三

〇オ⑥・三四ウ⑤・三八オ\*⑥

ひとわき(人別) 三〇オ⑩

ひのものとのくに(日本) 一ウ③

ひびき(響) 二二ウ⑥

ひほう(非法) ↓ ひほふ

ひほふ(非法) 三八オ⑨

ひま(隙・暇) 八ウ\*①・一四オ①・一

五ウ\*⑧・二一オ\*②

ひませ(日交) 二七ウ⑩

ひまなし(形)

―く 四二六ウ\*⑦ 浪のひまなく我そ

くたくる

―き 四二二ウ⑩ 雪のひまなきなど

ひめみや(姫宮) 五ウ⑨

ひやうぢやう(評定) 三八オ⑧

ひやうでう(評定) ↓ ひやうぢやう

ひらく(開)(動下二)

―け 四一ウ④ あまのいは戸ひらけし

時

三五オ\*⑤ あめつちのひらけ

しはしめ

ひらの(平野) 八ウ⑨

ひる(昼) 一四オ⑨・一六オ⑤

ひるつかた(昼) 九オ②・一一オ⑨

ひるふ(拾)(動四)

―ふ 四二六ウ③ 貝なとひろふおり

二七ウ\*① しほひにひろふう

つせ貝

びん(便) ↓ たより

びんぎ(便宜) 二〇ウ⑥

ふ

ふ(経)(動下二)

へ 四二六オ⑥ いたう程もへす

二七オ⑧ 又程へす返事し給へり

へ 四二オ⑨ 年月をへて

二四ウ⑧ 程へて

二八ウ\*⑤ 年をへて

三〇ウ⑤ 年経給ひにける

ふる 四一六ウ\*③ 年ふる岩に

ふかくさのさきのさいぐう(深草前齋宮)

三〇ウ③

ふかし(深)(形)

―く 四九オ⑩ 堤のかたはいとふかく

て

一四ウ① ふかく入まゝに

一し困七ウ⑤ 霧いとふかし

一き困二オ⑤ ふかき契を

九ウ\*① ふかき心は

三三オ\*⑩ 秋ふかき草の枕

cf よー

ふく(吹)(動四)

一く困三五ウ\*① 空ふく風も

ふじ(富士) 一七オ⑥・一七ウ\*⑤・三

四オ\*⑦・三四ウ\*①

ふじがは(富士川) 一七ウ⑧\*⑩

ふじのね(富士嶺) 一七オ\*⑨・一七ウ

\*②

ふじのやま(富士山) 一七オ③

ふす(臥)(動四)

一し困一六オ⑧ 臥なからかきつく

ふたこ糸(二声) 二九ウ\*②

ふたたび(二度) 一ウ⑨・二二オ⑩・二

七ウ⑩

ふたつ(二) 九ウ\*⑦

ふたむらやま(二村山) 一〇ウ⑩・一一

オ\*②

ふたり(二人) 二四ウ⑧

ふぢかは(藤川)

cf せきのー

ふつか(二日) 三二オ⑩ 八月二日

ふて(筆) 一三オ\*③・二七オ⑥

ふてのあと(筆跡) 三六ウ\*⑨

ふね(舟) 九オ⑦・一三ウ⑧⑩・三六オ

\*⑥

cf あまをー・うきー・つりー・もか

りー・をー

ふはのせきや(不破関屋) 八オ⑩・八ウ

\*①

ふみ(文) 一オ②・一五ウ③・二三オ⑤

・二四オ\*⑩・二四ウ③・二五ウ⑩

二七オ⑨・二九ウ⑧・三一オ⑥・三

四ウ②・三八オ③

一ども 二四オ⑤・三二ウ②

ふもと(麓) 一四ウ③\*④・一七ウ\*②

一九オ⑤

ふゆ(冬) 一八オ\*①

cf みー

ふりくらす(降暮)(動四)

一せ回八ウ④ しぐれに過て降くらせ

は

ふりすつ(振捨)(動下二)

一て困四ウ④ ふり捨られんなこり

一て困六ウ⑥ つれなくふりすてつ

三三ウ\*① ふりすてゝこし

ふりそふ(降添)(動四)

一ふ困二二オ\*⑦ 雪そふりそふ

ふりみふらずみ(連語)

三オ② ふりみふらずみ時雨も

たえず

ふる(降)(動四)

一ら困九オ② 雨はふらすなりぬ

一り困八ウ⑧ 夜もすから降つる雨

一る困二三ウ\*⑧ 雪ふる空のなかも

三五ウ\*② 枝もならさずふる

雨も

ふる(触)(動下二)

一れ困三オ④ 事につれて心ほそく

ふるさと(故郷) 六オ\*⑥\*⑨・七オ\*③

二二オ\*③・二四ウ②・二八オ⑥

三四ウ⑧・三六ウ\*②

ふるし(古)(形)

一き困三ウ\*⑥ ふるき枕のちり

ふるす(旧)(動四)

cf きぎー

ふるほぐ(古反古)

一ども 二オ②



ふんやのやすひで(文屋康秀) 二ウ⑨

へ

へだたりはつ(隔果)(動下二)

―て困二〇オ⑨ 都遠くへたよりはて

ぬる

へだつ(隔)(動下二)

―て困一〇オ\*④ わかの浦風へたて

すは

三二ウ\*⑧

心のみへたてすとも

へだてなし(形)

―く困二四オ⑥ へたてなく哀にたの

みかはし

へんじ(返事) ―かへりごと

ほ

ほいなし(形)

―う困二二オ⑨ いかゝとほいなう

こそ

ほか(外) 三四ウ\*⑩・三五オ\*⑩

cf ころより―に

ほぐ(反古)

cf ふる―

ほくゑきやう ―ほげきやう

ほげきやう(法華経) 二八オ③

ほす(十)(動四)

―さ困一八オ\*⑤ あま衣ほさぬうら

みと

ほそかは(細川) 二オ⑥

ほそかはやま(細川山) 三六オ\*②

ほそし(形)

―き困二〇オ① いとほそき月

cf ころ―

ほど(程) 三オ⑧・五オ\*⑦・五ウ⑧・

六ウ⑦・七ウ④・八オ⑦・八ウ⑨・

一〇オ⑩・一二オ⑤・一二ウ⑤・一

三ウ③・一四オ\*⑩・一五オ⑨・

一六ウ①・一八オ⑦・二〇ウ⑥・二

一ウ④\*⑦・二三オ\*②⑧・二三ウ②

\*⑨・二四オ⑧・二四ウ⑧・二五ウ

⑧・二六オ⑥・二七オ⑧・二八オ⑧

・三二オ⑥・三四オ④

cf この―・さる―に―なし

ほとけ(仏) 二八オ②

ほととぎす(時鳥) 二九オ⑩・二九ウ\*①

③\*⑤⑩・三〇オ\*④⑧

cf やま―

ほどなし(形)

―く困六ウ⑥ 程なくあふ坂のせきこ

ゆる

一六ウ⑤ 程なく暮て

二五ウ③ 程なく年くれて

ほのかなり(形動)

―に困二九ウ⑩ 初音ほのかにもおも

ひたえたり

ほれはつ(惚果)(動下二)

―て困二八オ① ほれはてたる心地

ま

ま(間)

cf この―・たえ―・なみ―

まいらす ―↓まゐらす

まいらせをく ―↓まゐらせおく

まいり ―↓まゐり

まいる ―↓まゐる

まうし(申)

cf まかり―

まうしおく(申置)(動四)

―く困六オ② かねて申をくついでに

まうしなる(申馴)(動下二)

―れ困二二ウ④ あさ夕申なれしかは

まうしなく → まうしおく

まうす(申)(動四)

— さ困二九ウ⑦ 申されたる事

三八オ⑤ 申されける歌

— し困二三オ⑦ こまかに申たく候に

まうす(申)(補助動四)

— し困二〇ウ⑧ ことつけ申たりし人

まがき(籬) 三オ⑨

まかす(任)(動下二)

— せ困二七オ⑥ 筆にまかせて

三七オ⑩ もとのころにま

— す困一〇オ⑥ かせつゝ

— する困三六ウ② 神のころにまか

— する困三六ウ② 風にまかするふ

— する困三六ウ② るさと

まかりまうし(籠申) 二二ウ④

まきらはす(紛)(動四)

— す困五オ⑨ ものいひまきらはすも

まきる(紛)(動下二)

— する困二三オ⑧ まきるゝほとにて

二六オ⑩ まきるゝ事なく

まく(時)(動四)

— き困三五ウ⑨ 種をまきけるとか

とてや

まくら(枕) 三ウ④・⑥・一六オ⑧・一

六ウ⑩・二五オ⑦・二六オ⑧

cf かりー・くさのー

まこと(真) 一ウ②・三五ウ⑦

まことし(形)

— き困五ウ⑩ ころろつかひもまこと

しきさまに

まことなり(形動)

— に困一九オ⑥ まことにはやし

まさきのつな(柁木綱) 九オ⑧

まさる(動四)

cf あれー・さえー

まして(副) 三オ⑨

まはる(動四)

— ら困五ウ③ 又まはらさらむやは

まじる(動四)

cf たちー

また(又) 一オ⑥⑨・一ウ⑧・四ウ②・

五オ⑤・五ウ③・六ウ⑨・八ウ⑥・

九ウ⑤・一一ウ⑤・一二ウ③・二

一オ⑧・二三ウ⑩・二四ウ②・二五

ウ⑧・二七オ⑧・二八ウ⑩・二九オ

⑦・三〇オ⑨・三〇ウ①・三一ウ⑨

・三三オ⑥⑨・三三ウ②・三四オ⑨

・三四ウ②・三五オ③・三七オ④・

三七ウ②

まだ(副) 二六オ③

まちう(待得)(動下二)

— え困二三オ⑤ 文まちえて

三二ウ① つかひまちえ

まちみる(待見)(動上二)

— み困二六オ⑦ 程もへすまち見奉る

まつ(松) 七ウ⑨・二二ウ⑥

まつ(待)(動四)

— ち困一一ウ⑥ まちけりな

— つ困二九オ⑥ いまやまつらん

まつ(先) 八オ⑦・一六オ⑤・二三オ⑥

まつかせ(松風) 一四ウ⑥・二〇ウ⑥

まつりごと(政) 一オ⑦・三六オ⑨

まなし(間無)(形)

— く困七オ⑩ まなくしくれのもる

まにまに(随) 一〇オ③

まねぶ(学)(動四)

— び困一五ウ① 昔をわざとまねひた

まはす(廻)(動四)

らん

cf み

まへ(前)

御一 二八オ③

まほる(守)(動四)

ーり 困二オ⑦ 道をまほり家をたすけ

む

ーれ 困九オ\*⑤ まほれたゝ契むすふ

の神ならば

cf まもる

まま(儘) 二四オ⑨・三八オ④

↑に・にて 六ウ③・九オ①・一四

ウ①・二七オ⑥・二九オ\*⑧・三〇

ウ⑤・三四ウ④・三五ウ\*③

まもり(守) 五ウ\*⑥

まもる(守)(動四)

ーる 困九ウ\*⑧ 法をまもるなるへし

cf まぼる

まよはず(迷)(動四)

ーさ 困九オ\*⑥ われまよはさて

まよひ(迷) 八オ①

まよひく(迷来)(動力変)

ーき 困三一ウ\*⑦ 旅ねの夢にまよひ

きて

まよふ(動四)

ーは 困四オ\*⑨ まよはまし

まりこがは(丸子川) 一九ウ⑦

まれなり(形動)

ーに 困三〇オ⑨ まれにもきく人有

ーなる 困三〇オ⑧ 時鳥まれなるなら

ひ

まゐらす(参)(動下二)

ーせ 困三八オ② まいらせられける文

まゐらす(参)(補助動下二)

ーせ 困二三オ④ 心にかけまいらせつ

るを

まゐらせおく(参置)(動四)

ーき 困三〇ウ④ 中納言のまいらせを

き給へる

まゐり(参)(名)

御一 二三オ⑩

まゐる(参)(動四)

ーり 困九ウ⑩ あつたの宮へまいりて

二二ウ⑤ 北白河とのへまいり

しかと

ーる 困一八オ⑧ 三嶋の明神へ参ると

て

み

み(身) 一オ⑧・二ウ②⑦・九ウ\*④・

一一オ\*⑩・二六オ\*⑧・二八ウ\*⑧・

二九ウ\*⑥・三六オ\*①\*⑧・三七オ

\*⑤

み(御)(接頭)

cf おん・ーきやう(経)・ーこ(子)・

ーのり(法)・ーよ

み(接尾)

cf ふりーふらずー

み(接尾)(形容詞語幹接続)

cf なー

みくしげどの(御匣殿)

cf しきかむもんゐんのー

みこ(御子) ーこ

みこと(御言) 三五ウ\*③

みしまのかみ(三島神) 一八オ\*⑨

みしまのみやうじん(三島明神) 一八オ

⑦

みしる(見知)(動四)

ーり 困一五オ⑨ あさりの見しりたる

みす(見)(動下二)

ーせ 困二〇オ\*⑦ こき行かたを見せ

しとや

みたび(三度) 二二才⑩・二八才②

みたり(三人) 二才①

みだりがはし(形)

—き⑩三七才\*②  みたりかはします

ゑの世

みだれちる(乱散)(動四)

—り⑩三才④  涙とともにみたれちり

つゝ

みち(道) 一ウ②⑦・二才④⑦・二ウ③

・三才⑤・五才\*①・五ウ②・八ウ④

⑨・九才②・九ウ⑩・一二ウ\*③・

一四才⑩・一五ウ③・一八ウ⑨・二

一ウ④・三六ウ\*⑤

cf  しきしまの—

みちのおく(陸奥国) 三〇才⑦

みちのくに(陸奥国) 二九ウ④

みつ(三) 九ウ\*⑧

みつ(溝)(動四)

—つ⑩一〇才\*⑥  みつしほのさして

そきつゝる

みつ(水) 八才②\*⑤・一三才⑤・一四

才\*②・一五才\*①③⑤・一九才\*⑩・

三六才\*③

みつく(見付)(動下二)

—け⑩(一四才\*⑦)  たれかきてみつ

けの里と

みつぐきの(水葦)(枕詞) 一才④

みつげのさと(見附里) 一四才④\*⑦

みつた(水田) 八ウ⑩

みつのも(水井) 一四才⑥

みな(皆) 七ウ\*⑥・三八才⑨

みなかみ(水上) 三六才\*④

みなと(湊)

cf  そでの—

みなる(水馴)(動下二)

—れ⑩(二三才\*⑧)  波のかけこす袖

に見なれて

みなる(見馴)(動下二)

—れ⑩(一三才\*⑧)  波のかけこす袖

に見なれて

みね(峯) 七ウ⑨

みねどの(峯殿) 二三才⑩

みねつづぎ(連峯) 一四ウ②

みの(蓑) 八ウ\*⑥

みのうへ(身上) 一才③

みののくに(美濃国) 八才⑥

みふゆ(三冬) 三才①

みまはす(見廻)(動四)

—さ⑩三才⑨  ましてと見まはされて

みや(宮)

cf  あつたの—いちの—ひめ—

みやうじん(明神)

cf  みしまの—

みやこ(都) 一四ウ\*⑧・一五才\*⑦・一

五ウ\*⑦・二〇才⑨・二〇ウ⑤・二

一才⑤・二四才⑥・二五才⑦・二五

ウ⑧・二六才\*②\*⑧・二六ウ\*⑥\*⑨

・二七ウ\*⑧・二八才⑤・二九ウ\*⑤

・三一ウ\*⑤・三二才⑧・三四ウ\*⑩

・三五才②・三六才\*⑦

cf  つぎの—

みやこどり(都鳥) 一〇ウ⑥\*⑨

みやこびと(都人) 二七才\*④・二九才

\*⑤

みやぢのやま(宮路山) 一一ウ④

みやぢやま(宮路山) 一一ウ\*⑧

みやのおんかた(宮御方) 六才①

みやばしら(宮柱) 一八才\*⑨

みよ(三代) 四才\*⑧・三五ウ\*⑥

みよ(御代・御世) —→よ

みゆ(見)(動下二)

一え困七オ① 人もみえす

一オ⑤ はしもみえすなりぬ

一七オ\*⑩ すゑも見えすなる

らん

二〇オ⑥ つり舟見えすなりぬ

二二ウ⑤ みえさせ給はさりし

かは

三一ウ② 夢に見えさせ給ふよ

し

三一ウ\*⑧ みえぬ人のおもか

け

一え困七ウ⑩ けちめみえて

一七オ⑦ たしかにみえし物を

一ゆ困二二オ② かくてすむらんとみ

ゆ

三四オ④ よみたりけりと見ゆ

一ゆる困一一ウ⑩ かや屋の一見ゆる

一二ウ⑤ 海見ゆる程

一六ウ② やうにみゆるいとお

かし

一ゆれ回一六オ⑦ 碗もみゆれは

みゆき(行幸) ↓ぎやうかう

みる(見)(動上一)

み困五オ③ いてたち見むとて

二八ウ\*② たれかは見まし

三三ウ\*⑤ これを見はいかはか

りかと

三八ウ\*③ 影をたに見し

み困四オ⑥ 是を見て

五オ⑤ 手習ともを見て

一一ウ⑦ 昔見し心ちする

一三ウ③ めくりあひて見つる命

一三ウ\*⑥ みし人なみに

一三ウ⑦ 見し人の子

一七オ⑤ 国までは見しかは

一八オ③ いさりするをみても

(一八オ\*⑨) あはれとやみしま

一の神

二三ウ① もみち見にとて

二七ウ\*⑦ さくらを見ても

二九オ\*③ 見し世こそ

二九オ\*⑧ こそみしまゝに

三二ウ② とりあつて見つる

三四オ\*⑦ ふしの煙を見ても

三四ウ\*① ふしのけふりとそみ

し

三四ウ\*⑩ 月見ても

みる困三ウ④ かはらぬをみるも

九ウ\*③ ゆきとみるもはか

なし

一〇オ\*⑦ あはれとみるめた

つねて

一一ウ③ あをちの錦をみる心

ちす

一六オ\*⑨ なをさりのみるめ

はかり

二四ウ⑩ 玉つきをみるに

三二ウ⑩ 歌を見るに

みれ回三ウ③ ねやのうち見れは

四ウ⑥ 手習したるを見れは

一四ウ⑥ あかつきおきてみれ

は

一七オ③ ふしの山をみれは

二四ウ⑨ かへりいと哀にてみ

れは

みよ困四オ\*③ むかしのかたみとは

見よ

(四オ\*⑧) かたみをみよの跡

に残さは

一四オ\*② うき世にわたる程

をみよ

cf くらべー・まちー

みるめ(海松布) (一〇オ\*⑦)・(一六オ

\*⑧)

みわたす(見渡)(動四)

―さ困一九オ② 大しまゝて見わたさ

るゝ

―せ困一三オ④ はしより見わたせば

―九オ\*⑨ ゆ坂をこえて見わ

たせば

みるでら(三井寺) 三二オ⑧

みんぶきやうのすけ(民部卿典侍) 三〇

ウ⑧

む

むかし(昔) 一オ①・三ウ④・四オ\*③・

四ウ②・一ウ⑦\*⑥・一三ウ\*⑥⑨

・一五ウ①・一七オ③・二〇ウ\*①・

二五ウ⑧・三〇オ⑦・三一ウ\*⑥・

三三ウ④・三五オ\*⑤・三八オ①

むかふ(向)(動四)

―ひ困一オ⑩ 山にむかひて行

むさしのぜんじどの(武蔵前司殿) 三八

オ①

むすびおく(結置)(動四)

―か困二オ⑤ 契をむすびをかれし

―き困一六オ\*⑩ むすびおきつと人

にかたるな

むすびをく ―むすびおく

むすぶ(結)(動四)

―ぶ困(九オ\*⑤)

契むすぶの神なら

むすぶ(掬)(動四)

―ぶ困八オ\*④

むすぶのかみ(産霊神) 九オ③\*⑤

むすめ(女) 三〇ウ③・三七ウ⑧

御―二二ウ①・二二オ⑨

むつかし(形)

―き困一六ウ⑦ むつかしきにほひな

れは

むまご(孫) ―うまご

むまや(駅) ―うまや

むまる(生)(動下二) ―うまる

むれゐる(群居)(動上二)

―る困二二ウ⑩ 鳥のむれゐたるは

め

め(目) 一〇オ⑦・一六オ\*⑨・一七ウ

⑦

め(海布) 二四ウ\*⑥・二五オ⑤\*⑨

めかれ(目離) 三オ⑦

めぐりあふ(動四)

―ひ困一三ウ③ めくりあひて見つる

命

―ふ困二一ウ\*⑨ 時雨のめぐりあふ

世を

二一オ\*⑨ めくりあふ末

めぐりく(廻来)(動力変)

―き困一八オ\*⑩ めくりきにけり

めづらかなり(形動)

―に困一五ウ② めづらかにおかしく

も哀にも

めづらし(形)

―く困二三オ⑥ 文まちえてめづらし

く

めにたつ(自立)(動四)

―つ困九オ③ 目に立つ社あり

も

もかりぶね(藻刈舟) 三〇ウ⑦

もじ(文字) 三三オ②

もしほぎ(藻塩木) 一九オ⑦

cf しほぎ

もしほぐさ(藻塩草) 四オ\*②\*⑦・三五

ウ※④

もしほび(薬塩火) 二八ウ\*⑥

もつ(持)(動四)

一ち困三五ウ\*⑧ まことをはもちな

から

cf あじかりー

もと(許)下(一) 三二ウ③・三三ウ⑧・三

四オ⑤

御ー 二〇ウ⑧・二六オ①・二八オ⑦

・二九オ①

もと(元) 三七オ\*⑩・三八ウ\*②

もとむ(求)(動下二)

一むる困三オ① すむへき困もとむる

にも

もとめいづ(求出)(動下二)

一で困一オ① 壁の中よりもとめいて

たりげん

もとより(副) 三〇オ⑥

もの(物)者(一) 一オ⑤⑧・一ウ⑥・二ウ

⑦・四ウ⑧・二二オ⑤

ものいふ(動四)

一ひ困五オ⑨ ものいひまきらはすも

ものおそろし(形)

一し困一四オ⑥ 里あれて物おそろし

ものがなし(形)

一し困七オ① いと物かなしとおもふ

に

ものこころほそし(形)

一二オ⑧ じつよりも物かなし

一し困五オ④ 物心ほそしとおもひた

る ものさはがし ーもものさわがし

ものさわがし(形)

一く困二二ウ⑥ ものさはかしくて

もみぢ(紅葉) 一一オ⑩・一一ウ\*⑥・

二三オ⑩

ももち(百千) 二二オ②

もり(森)

cf ただすのー

もりやま(守山) 七オ⑥・七ウ③

cf もるやま

もる(漏)(動四)

一る困八ウ\*② いかにもるらん

一る困七オ\*⑩ しくれのもる山に

しも

もる(漏)(動下二)

一れ困一オ⑦ 政にももれ

もるやま(守山) 七オ\*⑩

cf もりやま

もるともに(副) 二二オ⑧・七ウ\*⑥・二二

五オ\*⑨

や

やう(様)

へなりへ 二七オ⑦ かきさすやうな

りし

へにへ 一六ウ② 打きするやうにみ

ゆる

三二オ⑥ 歌のやうにもあら

す

やく(焼)(動四)

cf しほー

やさし(形)

一く困一五ウ② やさしくもおほゆ

二二オ⑦ いとやさしくあはれ

にて

二五オ⑧ やさしくかきて

二九ウ⑧ やさしくなとかきて

三四オ① やさしくおほゆるも

三三オ\*⑩

やし(八島) 三三オ\*⑩

やし(社) 九オ③・九ウ⑤・一四オ⑩

やす(野洲) 七ウ\*⑦

やすかは(野洲川) 七ウ③

やすし(形)

—く困二ウ② やすく思捨れとも

やすむ(休)(動四)

—ま困二二ウ\*⑨ 浪はやすまで

やすむ(休)(動下二)

—め困一四オ\*⑤ を舟さほもやすめ

す

やちよ(八千代) 三七ウ\*③

やつ(谷)

cf つきかげの—・ひきの—

やつはし(八橋) 一一オ④\*⑥⑧

やど(宿) 八ウ\*⑦・二二オ\*③・一六オ

②③・一六ウ⑧・一九ウ\*⑥

やどる(動四)

—り困七オ\*⑨ 袖ぬらせとやとり

けん

—七ウ⑥ やとりて

やはらかなり(形動)

—に困三五ウ\*② 空ふく風もやはら

かに

やはらぐ(動下二)

—ぐる困一ウ⑥ やはらくるなかつち

やま(山) 五オ②・七ウ⑨・一〇ウ⑩・

一一オ⑩・一一ウ⑦⑩・二二オ\*③・

一七ウ\*③・一八ウ\*④・一九オ③・

三二オ⑧

cf あしがら—・あしがらの—・うつ

の—・こと—・さやのなか—・さ

よのなか—・たかしの—・ほこねの

—・ふじの—・ふたむら—・ほそか

は—・みやち—・みやぢの—

やまかげ(山陰) 一四ウ①

やまかぜ(山風)

cf いそ—・うら—

やまでら(山寺) 二〇ウ④

やまち(山路) 二二ウ\*⑩・三二ウ\*⑨

やまと(と)た(和歌) 一ウ①

やまとことば(大和言葉) 三七ウ\*⑥

やまとなでし(大和撫子) 六オ\*⑩

やまとのくに(大和国) 三五オ\*④

やまぶし(山伏) 五オ⑩・一五オ⑩・二

〇ウ⑦

やまほととぎす(山郭公) 二九オ\*⑥

やまもと(山本) 一一オ⑨・二〇ウ③

やみ(闇)

cf こころの—・ゆふ—

やむ(ことなし)(形)

—き困一五ウ④ やむことなき所

やよひ(弥生)

二七ウ⑨ やよひのすゑつかた

やよや(感) 三七オ\*①

やらむかたなし(形)

—く困二ウ④ 根はやらん方なく

やる(遣)(動四)

—る困三三オ③ かへりことをそかき

そへてやる

—れ困二一ウ\*⑥ おもひこそやれ

cf おもひ—・かき—・こころを—

つげ—

やるかたなし(形)

—く困一オ⑩ やるかたなくかなしけ

れ

ゆ

ゆかしさ(名) 一九オ\*①

ゆがむ(歪)(動四)

—め困三七オ\*④ ゆかめることも

ゆき(雪) 一七ウ\*③\*⑩・二二オ\*④\*⑦

⑧・二二ウ⑩・二二三オ\*②・二二三ウ⑥

ゆきあふ(行合)(動四)



一ひ圃一五オ⑩ 山ふし行あひたり

二〇ウ⑥ 行あひたりし山ふし

ゆきき(往来) 九ウ\*③・一四オ①

ゆきすく(行過)(動上二)

一き圃一オ\*② 二むら山を行すき

て

ゆきつく(行着)(動四)

一か圃七オ⑥ 暮はてゝ行つかす

ゆく(行)(動四)

一き圃五オ\*⑦ こゝろのゆきて

三三オ\*⑤ ゆきてはかへる

一く圃七ウ③ もり山をいてゝゆく

八ウ⑧ こゝをいてゝゆく

九ウ⑨ むまやをゆく

一〇ウ① さはりなくひかたを

行

一一ウ① 山にむかひて行

一二オ⑧ いてゝゆく

二〇オ① 浜路をはるゝとゆ

く

一く圃六ウ\*⑨ たのめてそゆく

七ウ④ さきたちて行旅人

一〇ウ② さきたちてゆくも

一〇ウ⑩ 二むら山をこえて行

に

一一オ⑧ 八はしをいてゝゆく

に

二〇オ\*③ 浦路ゆくこゝろほ

そそ

cf こぎー・こころー・すぎー・なり

一・わけー・わたりー

ゆくさき(行先) 四ウ\*⑥・六ウ⑩・七

オ\*④・一〇オ\*⑨・三六ウ\*⑧

ゆくへ(行方) 三六ウ\*①

ゆくりなし(形)

一く圃二オ\*③ ゆくりなくあくか

れ出し

二二オ\*⑨ ゆくりなく空にう

かれし

ゆくりもなし(形)

一く圃二ウ⑧ ゆくりもなく…さそは

れ出なんと

ゆく系(行方) 一↓ゆくへ

ゆさか(湯坂) 一九オ④\*⑨・一九ウ①

ゆづり(譲)(名) 三七ウ⑨

ゆづる(譲)(動四)

一り圃三五ウ\*⑦ ゆつりてし其まこ

とをほ

ゆふぐれ(夕暮) 八ウ\*⑥・一一オ\*⑦

ゆふしで(木綿垂) 三七オ\*①

ゆふひ(夕日) 一八オ⑦

ゆふやみ(夕闇) 一一オ\*③・一四ウ\*④

ゆへ(故) 一↓ゆゑ

ゆへなし 一↓ゆゑなし

ゆめ(夢) 一オ②・八オ\*⑤・一五オ⑩・

一五ウ\*⑦・二〇オ⑨・三一ウ②\*⑥

\*⑦・三二オ\*③

ゆゑ(故) 二二ウ③・三一オ\*⑨

ゆゑなし(形)

一く圃二オ⑥ ゆへなくせきとゝめら

れ

よ

よ(世・代) 一オ②⑦・一ウ⑤・一一ウ

\*⑨・二三ウ⑦・一七ウ\*②・二〇ウ

\*①・二五オ④・二七ウ\*②・二九オ

\*③・三五オ\*⑦・三五ウ\*⑩\*⑩・三

六オ\*⑨・三六ウ\*⑦・三七オ\*⑥・

三七ウ\*③\*⑤

cf うきー・かりのー・すゑのーの

ちのー

よ(夜) 七ウ①⑧・二七オ\*①

cf よる

ようなし(形)

―き困二ウ⑦ 身をようなきものに

よく(避)(動上二)

―き困九ウ⑩ よきぬ道なれば

よこぐも(横雲) 一八ウ\*⑧

よこなみ(横浪) 四オ\*④

よし(由) 六オ③・二二ウ④・三一ウ③

よし(形)

―く困二一オ⑧ いとよくはれたり

―し困三〇オ⑨ なかすはよし

よす(寄)(動下二)

―する困一九ウ\*⑥ しら浪のよする

なきま

よせかへる(寄返)(動四)

―る困二〇オ⑤ なきまによせかへる

なみ

よそなり(形動)

―なら困一三オ\*⑦ 洲崎の岩もよそ

ならす

―に困一七オ\*① よそに聞こし清見

かた

―九オ\*② よそになしぬる

よつのうみ(四海) 三五オ\*⑩

よとせ(四年) 三六ウ\*①

よどむ(淀)(動四)

―む困三七オ\*⑩ 野中の清水よどむ

とも

よなよな(夜々) 三三オ\*⑦

よのなか(世中) 一〇ウ\*③

よひいづ(呼出)(動下二)

―で困一三ウ⑦ よひいてゝあひしら

ふ

よぶかし(形)

―かり困一八ウ⑥ 夜ふかゝりければ

―き困七ウ⑩ 夜ふかき霧のまよひ

一二オ⑦ 夜ふかきあり明の影

よむ(読)(動四)

―み困二八オ④ ほくゑきやうをよみ

つ

よむ(詠)(動四)

―ま困三三オ① よまれたるにこそ

三四オ⑤ よまれたりけるなめ

り

三八オ⑧ とよまれて候ければ

三八ウ④ とよまれて候も

―み困一七オ⑤ 浦なればなとよみし

比

一八オ⑧ よみてたてまつる

二六ウ① 歌をよみ給ふ人

三〇ウ⑧ 藻かり舟なとよみ給へり

へり

三〇ウ⑩ あやしき歌よみて

三二ウ③ 歌をよみたりけると

て

三四オ③ 思ひてよみたりけり

―む困二二ウ① 歌よむ人にて

三四ウ③ 歌よむ友もなくて

一ウ④

よも(四方)

よも(副) 四オ\*⑦・二〇オ\*⑩

よもぎ(蓬) 三七オ\*⑦・三七ウ⑦・三八オ④\*⑦

よもすがら(副) 八ウ⑧・一六ウ⑨・二四オ④\*⑩

よよ(世々・代々) 一ウ⑨・三ウ⑧・三六ウ\*④

よる(夜) 一六ウ⑧・三六オ\*⑦

cf よ

よる(寄)(動四)

―る困三六オ\*⑥ よるかたもなく

cf たちー・よるよる

よるよる(夜々) 二二六オ\*③\*⑨(

引

りつし(律師) 五オ③

れい(例)

へーのく 二四オ⑧・二五ウ⑨・二八オ⑦

総

わ

わが(我) 八オ\*⑥・一〇オ\*②\*⑨・一〇ウ\*⑨・一二ウ\*⑧・一五ウ\*⑥・一八ウ\*③・三七ウ\*①

わかし(形)

き困二三ウ① わかき人々

わかのうら(和歌浦) 四オ\*②

わかのうらかぜ(和歌浦風) 一〇オ\*④

わかのうらぢ(和歌浦路) 二八ウ\*⑤・三五ウ\*④

わかる(別)(動下二)

cf たちー・とびー

わかわかし(形)

き困二七ウ⑨ わかくしきわらは

やみ

わく(分)(動四)

か困二二オ⑥ あやめもわかぬほど

わけく(分来)(動力変)

二困二二ウ\*⑩ 山ち分こし袖のし

つくを

わけゆく(分行)(動四)

く困二一オ⑨ はら野を分ゆく

わざと(副) 一五ウ①

わする(忘)(動四)

ら困三三ウ\*② わすられぬもとの

心の

わする(忘)(動下二)

れ困二七ウ\*⑦ 忘れすは

三七オ\*④ いさめ置しをわす

れすは

れ困二ウ⑥ はかりをわすれ

二六ウ\*⑥) しはしみやこそ

忘貞

cf おほしめしー

わすれがひ(忘貞) 二六ウ\*⑥

わたうど(渡津) 一二オ⑥

わたくし(私) 三六ウ\*⑥

わたす(渡)(動四)

cf うちー・みー

わたり(渡)

cf てんりゆうのー

わたり(刃) 一〇ウ⑤・一六ウ⑤

わたりゆく(渡行)(動四)

く困九オ① さなからわたりゆく

わたる(渡)(動四)

ら困八オ\*⑨ わたらましやは

一四ウ\*⑩ わたらむと

り困一〇オ\*⑦ わたりぬる哉

一六オ③ わらしな川とかやわたりて

たりて

一七ウ⑨ 十五瀬をそ渡りぬる

る困九オ⑨ あやうけれとわたる

一五オ③ 河をわたる

一七ウ⑧ ふし川わたる

る困七ウ③ やす川わたる程

八オ⑦ 藤河わたる程

一四オ\*② うき世にわたる程

二六ウ\*⑩ なかめてわたる浦

風に

cf たどりー

わづかなり(形動)

に困三六オ\*③ わづかに命をかけ

ひとて

わづらひ(煩) 一五オ④

わびはつ(佗果)《動下二》

—つる困三六オ\*⑥ わびはつる子を

思ふ

わぶ(佗)《動上二》

cf さえー・すみー

わらしながは(蕪科川) 一六オ③

わらはやみ(瘡) 二七ウ④

われ(我) 三ウ\*⑦・九オ\*⑥・二六ウ\*⑦

・二九ウ⑦・三三オ\*⑩

わるし《形》

—から困三三ウ⑨ わろからん事を

—く困八ウ⑩ みちいとゝわるくて

ゐ

ゐ(井)

cf みづの—

ゐる(居)《動上二》

ゐる困一三オ⑥ 岩のうへにもゐたり

ゐる困一三オ\*⑦ かもめゐる洲崎の

岩

cf おきー・むれー

ゐん(院) 五ウ⑨

cf あんかもんー・おほみやの—のご

んちゆうなごん・くはこくもんー

のしんちゆうなごん・しきかむも

んー・なかの—のちゆうじやう・

にようー

ゑ

ゑ(絵) 一三オ\*③

を

をか(岡) 一オ④

をかし《形》

—く困一五ウ② おかしくも哀にも

三二ウ⑤ おかしく成にけり

—し困一六ウ② いとおかし

二五ウ③ いと哀にもおかし

をく(置) —→おく

をくる(送) —→おくる

をくる(後) —→おくる

をこがまし《形》

—けれ困六ウ② いとおこがましけれ

と

をこす(遣) —→おこす

をさなし《形》

—き困二四オ⑦ おさなき人々

をさまる(浴)《動四》

—り困三五ウ\*① 涙もしつかにおさ

まりて

をさむ(浴)《動下二》

—め困一ウ⑤ 世をおさめものをやは

らぐる

をし(惜)《形》

—から困二ウ① おしからぬ身ひとつ

をしふ(教)《動下二》

—へ困四オ\*⑨ をしへざりせば

をち(遠) 三二ウ\*⑨・三三オ\*⑤

をちこち(遠近) 一四ウ②

をと(音) —→おと

をとつれ(訪) —→おとつれ

をとつれく(訪来) —→おとつれく

をのこ(男子)

—ども 二オ②

をのづから —→おのづから

をのしゆく(小野宿) 七ウ⑧

をはりのくに(尾張国) 九ウ⑨

をぶね(小舟) 一四オ\*③

cf あまー

をまくら(小枕) 一六オ⑥

をよぶ(及) —→およぶ

- をり(折) 二六ウ③
- をりから(折柄) 三二オ①
- をりしも(連語) 一〇ウ①・二八オ⑤
- をんな(女子) 五ウ⑦